

## 五感マップを手がかりにした豊かな表現活動の工夫

—自然とかよし、5・7・5のリズムにのって—

### 1. 設定理由

自然体験を行うとき、児童は常に五感から何かを感じ取っている。子どもたちには、各々の五感を使って自然にどっぷり浸かる体験をすることによって、自然の価値を再認識して欲しいと考える。

本校の児童は、季節や自然への関心も低い。身近な自然を学習にたくさん取り入れ、五感を使ってたくさんのものを感じることで、自然のすばらしさを体感してほしいと強く思っている。語彙力の乏しい一年生にとって五感は刺激されていても、自然体験が乏しく、その表現方法がわからず困る児童がいた。そこで、五感で感じたことを自分の中の気付きを整理する「五感カード」に書き、一人ひとりの「五感カード」を「五感マップ」にまとめ交流することで新たな気付きにも出会うこともできると考えた。また、「体験→五感カード→共有→表現」を繰り返ししていくことで、感性が磨かれ、豊かな表現活動が生まれてくるのではないかと考えた。「五感マップ」を活用することで、歌やダンス、絵日記、俳句などの表現活動は多岐にわたるが、リズムにのれる楽しさ、全校の取り組みとして行っていたこともあり、俳句での表現活動を児童が好んで行っていたことから、本主題を設定した。

### 2. 研究仮説

◎自己や友だちの考えを共有化する五感マップを作成し、活用することにより、豊かな表現活動につながるだろう。

### 3. 研究内容

- ①自己や友だちの考えを共有化できる五感マップを作成する。
- ②五感マップを活用した授業を実践し、考察を行う。

### 4. 結論

- ・五感という視点を持って体験活動を行うことで、児童は自然に興味を持ち、進んで自然と関わることができるようになった。
- ・感じたことを五感マップにまとめることで、体感したことが可視化され、どの子も表現活動ができるようになった。「体験→五感カード→共有→表現」を繰り返ししていくことで、児童の感性が磨かれ、豊かな表現活動につながった。

# 目次

1. 研究主題 .....	1
2. 主題設定の理由.....	1
3. 研究目標 .....	1
4. 研究内容 .....	1
5. 研究仮説と具体的な手立て .....	1
6. 検証と考察.....	3
(1) 手立て①の実践過程と考察.....	3
(2) 手立て②の検証と考察 .....	6
7. 研究のまとめ .....	10

## 1. 研究主題

五感マップを手がかりにした豊かな表現活動の工夫  
—自然となかよし、5・7・5のリズムにのって—

## 2. 主題設定の理由

自然体験を行うとき、児童は常に五感から何かを感じ取っている。『世界大百科事典』には「五感」とは、「外界のいろいろな刺激によって生ずる感覚として視覚、聴覚、味覚、触覚の五つが区別されてきた。これを五感という。この五つの感覚は今日でいう感覚の種に相当するものであるが、感覚の種はこの五つに限られたものではなく、特に触覚で代表されている皮膚感覚は、触・圧覚、温覚、冷覚、振動感覚等が感覚の種とみなされている。」と示されている。子どもたちには、各々の五感を使って自然にどっぷり浸かる体験をすることによって、自然の価値を再認識して欲しいと考えている。

本校の周辺には、大きな公園もあり、自然とふれあえる環境が整っているにもかかわらず、児童は、放課後は屋内、屋外問わずゲームをして遊んでいることが多い。季節や自然への関心も低く、季節のイメージを聞いたときに、何も出てこない児童や、全く関係のない季節のことを話している児童もいた。本来自然の中でこそ、子どもたちの感性は揺さぶられ、磨かれるのではないかと考える。身近な自然を学習にたくさん取り入れ、五感を使ってたくさんのものを感じることで、自然のすばらしさを体感してほしいと強く思った。

語彙力の乏しい一年生にとって五感は刺激されても、自然体験が乏しく、その表現方法がわからず困る児童がいた。そこで、五感で感じたことを自分の中の気付きを整理する「五感カード」に書き、一人ひとりの「五感カード」を「五感マップ」にまとめ交流することで新たな気付きにも出会うこともできると考えた。また、「体験→五感カード→共有→表現」を繰り返し行っていくことで、感性が磨かれ、豊かな表現活動が生まれてくるのではないかと考えた。「五感マップ」を活用することで、歌やダンス、絵日記、俳句などの表現活動は多岐にわたるが、リズムにのれる楽しさ、全校の取り組みとして行っていたこともあり、俳句での表現活動を児童が好んで行っていたことから、本主題を設定した。

## 3. 研究目標

豊かな表現活動につなげるための五感マップの有用性を授業を通して検証する。

## 4. 研究内容

- ①自分や友だちの考えを共有化できる五感マップを作成する。
- ②五感マップを活用した授業を実践し、考察を行う。

## 5. 研究仮説と具体的な手立て

### (1) 研究仮説と具体的な手立て

仮説 自分や友だちの考えを共有化する五感マップを作成し、活用することにより、豊かな表現活動につながるだろう。

手立て①

自己や友だちの考えを共有化できる五感マップを作成する。

手立て②

五感マップを活用した実践を検証し、考察する。

## (2) 五感マップとは

### ★本研究における「五感マップ」とは…

視・聴・嗅・味・触の五つの感覚で感じたことを文字や絵などを使って児童が書いたものを1つにわかりやすくまとめたもの。たくさんの情報を皆で共有できるもの。

自然体験を行うとき、児童は常に五感から何かを感じ取っている。『世界大百科事典』<sup>(1)</sup>には「五感」とは、「外界のいろいろな刺激によって生ずる感覚として視覚、聴覚、味覚、触覚、嗅覚の五つが区別されてきた。これを五感という。この五つの感覚は今日でいう感覚の種に相当するものであるが、感覚の種はこの五つに限られたものではなく、特に触覚で代表されている皮膚感覚は、触・圧覚、温覚、冷覚、振動感覚等が感覚の種とみなされている。」と示されている。生活科の学習では、自然体験を行うと、感じたことを発見カードに書いていた。しかし、語彙力の乏しい一年生にとって感じたものはたくさんあっても、その表現方法がわからなかったり、日常的に自然と関わることの少ない児童にとって、何を感じ取ったらしいか考えられなかったりすることがあった。「外に出ることは楽しい」「好き」で終わってしまって、そこから深まることがなかった。

そこで、1つの活動が終わったら、「みつけたよ」「さわったよ」「きこえたよ」「においをかいだよ」「あじわったよ」の5つの項目に分かれた五感マップに皆の感じたことをまとめることにした。より豊かな体験にするために、どんな所を意識するかを明確にする。感じたことを書くことで、意識したことが可視化でき、イメージを広げることにもつながっていく。共有することで、自分だけでは考えられなかつたことを知ることができ、自分の中に新しい感覚や表現方法を取り入れることができ、体験を表現する際にも有効な手立てではないかと考えた。

図1 五感カードから五感マップ、表現に至るまでの構造図

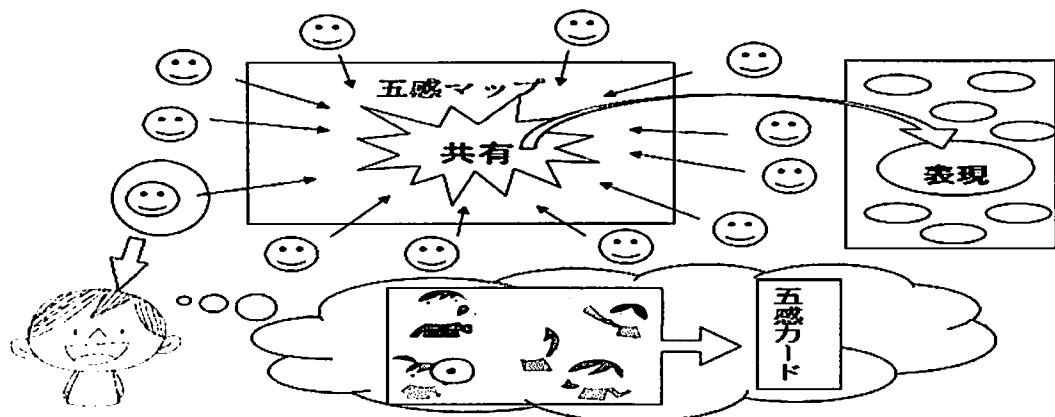
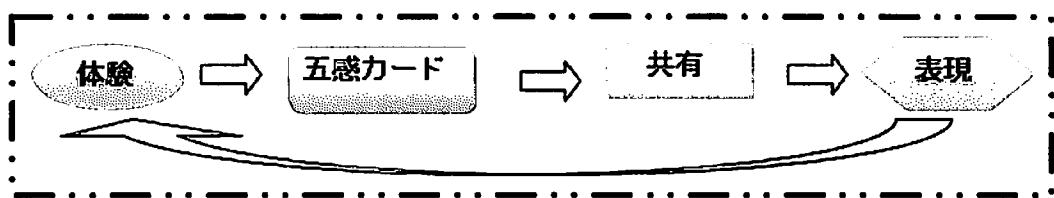


図2 生活科学習の流れ



単元の中でこのような学習の流れを毎回作ることで、一年生でも安心して取り組むことができ、慣れることで、たくさんのことと五感マップに表すことができるようになっていった。作った五感マップは、教室に振り返ることができるよう掲示した。表現活動の際には、そこからヒントを得て、考えていた。

### (3) 豊かな表現活動とは

#### ★本研究における「豊かな表現活動」とは…

様々な表現活動する中で、子どもたちが楽しく、その活動に没頭できること。自分だけでは発見できなかった新しい感覚に出会い、表現に深まりが生まれていくことである。

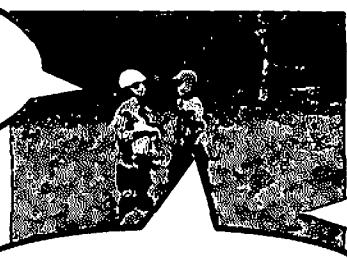
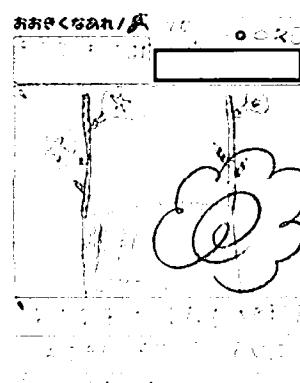
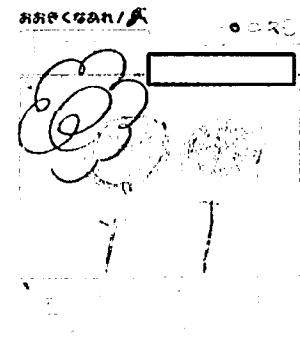
新『小学校学習指導要領解説 生活科編』<sup>(2)</sup>では、「表現する」とは、気付いたことや考えたこと、樂しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって、他者と伝え合ったり、振り返ったりすることである。一人一人の気付きなどが表現されることによって確かに、交流することで共有され、そのことをきっかけとして新たな気付きが生まれたり、様々な気付きが関連づけられたりする。」と書かれている。このような様々な表現活動を行っていく中で、心からの気付き、情意が芽生えてくるのではないかと考える。楽しさや喜びを味わいながら、子どもたちが活動に没頭することで、自分なりの表現を見つけていく。そして、それを共有することによって、自分だけでは発見できなかった感覚や表現方法に出会うことができ、表現に深まりが生まれてくる。このような表現活動を、本研究では「豊かな表現活動」と捉え、研究を行った。

## 6. 検証と考察

### (1) 手立て①の実践過程と考察

#### 【「五感カード」から「五感マップ」へ至るまでの児童と教師の関わり】

	活動内容	子どもの様子 ◎良かった所●改善したい所	教師の思い・願い、支援
6月	なつとかよし  こうえんたんけんにいこう! ・清水谷公園に行き、遊ぶ。 ・夏の公園の様子を知る。 	◎鬼ごっこやかけっこをして遊ぶ。 ◎遊具や砂場で遊ぶ。 ◎花つみをする。 ●「何もすることがない」とうろうろしている。	○自然の中で思いきり遊んでほしい。  ○どうして何もしないのだろうか? ○外での活動は退屈なの?  ↓ ○経験が少ないので何をしていいのかわからないのではないか?

	<p>ええー、 何するー？</p>  <p>やることないね。</p>	<p>○何か子どもたちの手助けになる視点を与えてあげるといいのではないか。</p> <p>何かいいアイデアはないか？</p>
7月	<p>おおきくなったよ！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アサガオの観察をする。</li> <li>・発見したことを観察カードに書く。</li> </ul>  <p>いろはももいろでした。においは、みつのにおいででした。</p> <p>こうでいでなつをみつけよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭で夏探しをする。</li> <li>・発見したことを発見カードに書く。</li> </ul> <p>この花、いっぱいあるね。</p>  <p>なんて名前だろう？</p>	<p>○手で触ったり、においをかいだりして一生懸命観察していた。</p> <p>○観察したことを1つずつ文に書いている。</p>  <p>いろはむらさきでした。かたちは、ぼおるのようでした。</p> <p>○全員が意欲的に夏を見つけていた。</p> <p>○自然を楽しく感じていた。</p> <p>○感じたことを発見カードに書けていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●同じような感想が多い。</li> <li>●何を書いたらいいのかわからない児童が数人いた。</li> </ul> <p>色、におい、形に注目！</p> <p>五感という視点を与えてみよう！</p>
		<p>○観察は困り感をしめず児童はいない。</p> <p>○手や鼻などの五感を使って観察をしている。</p> <p>↓</p> <p>○五感は常に感じができる。これを自然体験の手立てにできるのではないか？</p> <p>○視点を与えたことは成功だ！</p> <p>○わからなかっただけなのだ！</p> <p>○体験の少ない児童にとって、感じ方は、表現の仕方は限られてしまうのではないか。</p> <p>↓</p> <p>○発見カードを工夫することはできないか？</p> <p>○自分だけでなく友だちの意見を聞くことができた</p>

10月	<p>あきとなかよし あきをみつけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春や夏の様子と比べながら、校庭や公園で秋の自然の様子を見つける。</li> <li>・見つけたことを五感カードに書く。</li> <li>・個人で書いた五感カードを発表し合い、五感マップにまとめ、共有する。</li> </ul>  <p><b>教室の窓側の 上方に掲示</b></p> <p><b>五感マップは活用 していけそうだ！</b></p>	<p><b>五感カード</b> をつくろう！</p> <p>ら感性や表現に広がりが生まれるのではないか？</p> <p><b>意見を共有できる ようにしよう！</b></p> <p>◎音を聞いたり、においをかいだりして秋を感じようとしている。</p> <p>◎1つだけでなく、たくさん見つけようと意欲的に走り回って探していた。</p> <p>●たくさん見つけられていたが、五感カードに書こうとすると手が止まってしまう子がいた。</p> <p>◎絵で見つけたものを楽しそうに五感カードに書いていた。</p> <p>◎友だちの意見を聞いて付け足している子もいた。</p> <p><b>五感マップ</b> で共有を！</p> <p>○「字で書くのが難しかったら絵や記号でかいてもいいよ。」</p> <p>○「友だちの考えを聞いて、一緒にだったら付け足しだしてもいいよ。」</p> <p>○五感カードは、形にとらわれず、自由に書くことで、子どもたちも感じたことをのびのび自由に表現できる。</p> <p>○共有することで、考えを深められた。</p> <p>○五感マップをいつでも皆が見えるところに掲示しておけば、表現活動にも生かせるのではないか。</p> <p><b>教室のわかりやすい場所 に掲示し、活用しよう！</b></p>
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 《考察》

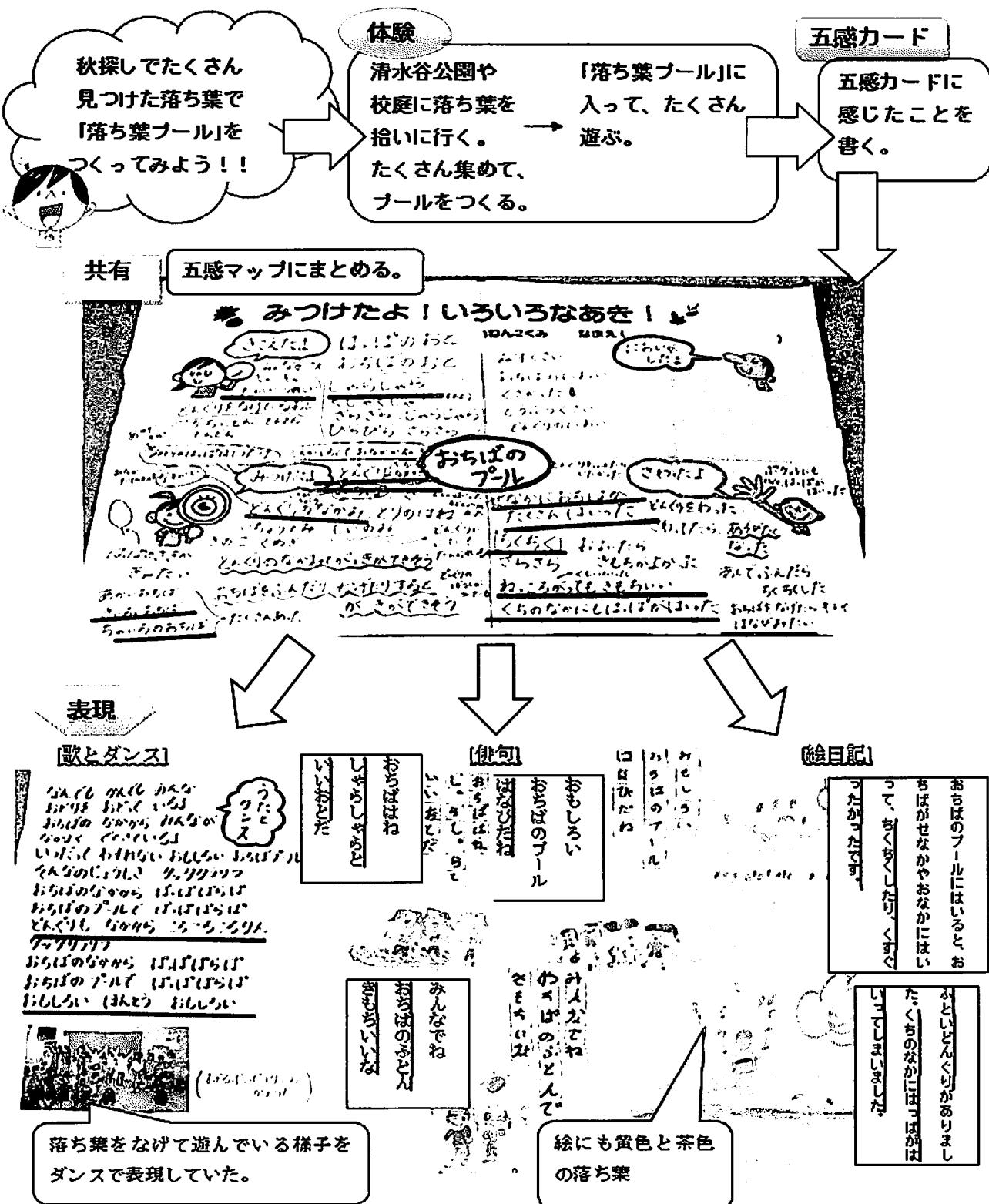
初めは、外に出て活動してもどうしていいのかわからなかった子どもたちが、「五感」という視点を与えることで、意欲的に自然と関わり、何か新しいことを発見しようとする姿勢がたくさん見られるようになった。「五感カード」にかいたことで、自分の感じたことを可視化することができるようになった。曖昧だった自分の感じ方を整理することができ、改めて自分の感性と向き合う時間にもなっていった。たくさん見つけられていたが、五感カードに書こうとすると手が止まってしまう子には、「五感カード」を共有して、「五感マップ」にしたことで、自分だけでは感じることのできなかった感覚も知ることができ、次の活動の手がかりにもなっていた。また、友だちの発表を聞くことで、忘れていた自分の感性にも気付くことができた。これらのことから「五感カード」と「五感マップ」は、感性を可視化するのに有効な手段であることがわかった。

## (2) 手立て②の検証と考察

## 【五感マップを活用した豊かな表現活動の実践】

## 実践A 多様な表現<事例1：落ち葉のプール>

図3 落ち葉プールの学習の流れ



### 《考察》

観察カード・発見カード・五感カード・そして五感マップを活用することで、様々な表現方法を考えることができた。俳句、絵日記、歌、ダンス、紙芝居など多岐にわたる表現活動が見られ、グループで考えた歌とダンスを「こうするといいんじゃない」とクラスで再度考え、全員で楽しく歌い、踊った。

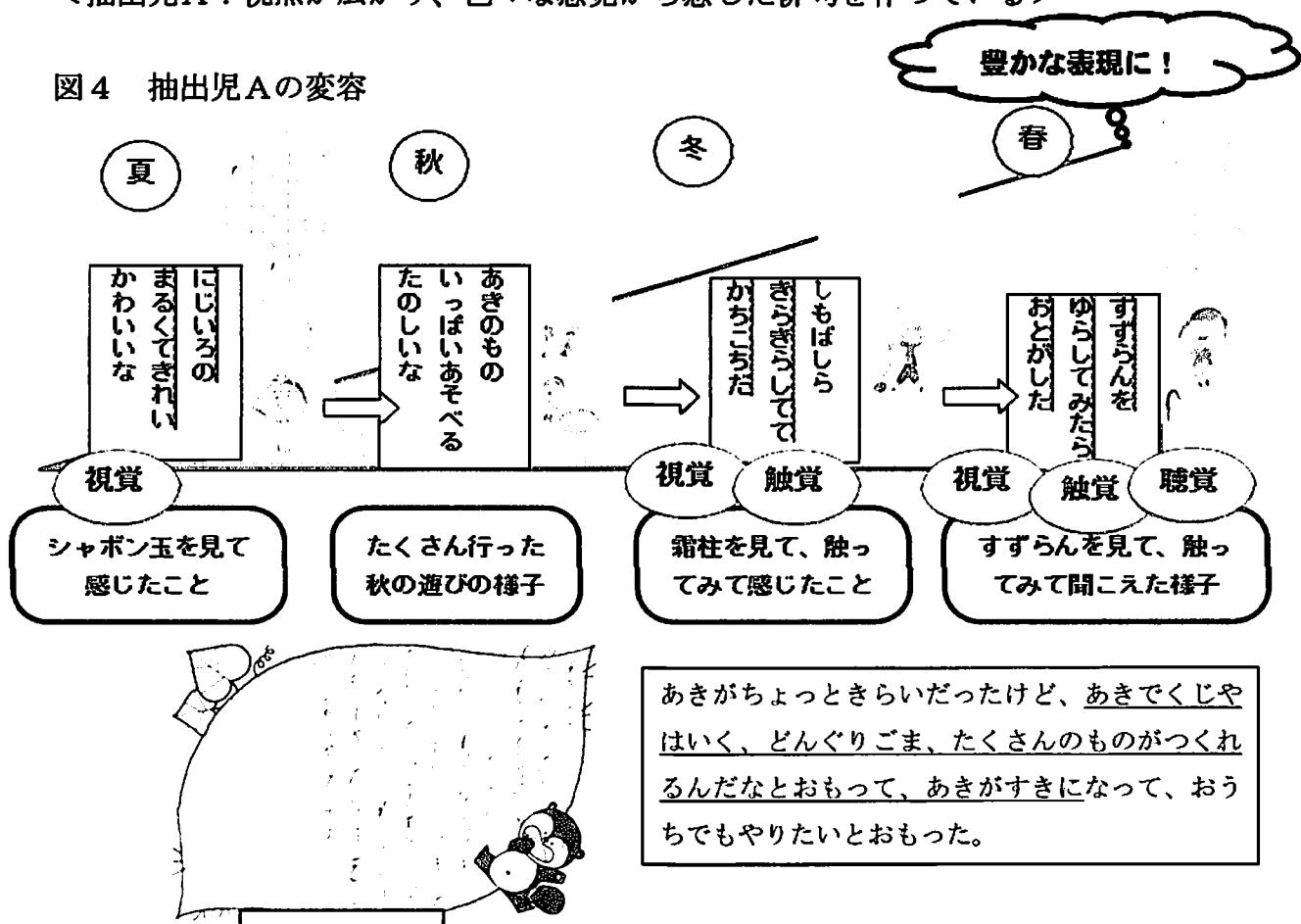
「五感マップ」があることで、子どもたちはどの子も表現活動に没頭できるようになった。どのように表現していいか悩んだときに、すぐ目にできるところに「五感マップ」があるので、五感マップに出てくる言葉をそのまま使ったり、そこから連想して自分で考えたりして、思い思いに楽しく活動することができていた。自分一人で考えられない児童も、友だちの意見があることで、困ることなく活動に取り組んでいた。また、そこから「あっ！」と思い出して表現している児童もいた。五感マップを活用することにより、新しい感覚や表現を取り入れることができ、豊かな表現へつながったといえる。

### 実践B 表現の深まり<事例1：抽出児A>

この単元では、その都度児童が体験したことをどのように表現したいかということと一緒に考え、様々な表現活動を行ってきた。その中で、本学級の児童は踊ったり、歌ったりリズムにのって楽しむことを特に好んだ。リズムにのれる楽しさから特に俳句作りにはまり、活動中にも5・7・5の言葉を口にするようになった。本校では、ペア活動で6年生と一緒にリズム遊びをしながら、俳句作りを行ったり、一緒に公園でシャボン玉遊びをして俳句を作ったりもしていたことも一因として挙げられるだろう。

### <抽出児A：視点が広がり、色々な感覚から感じた俳句を作っている>

図4 抽出児Aの変容



### 《考察》

夏のシャボン玉の俳句では、見て感じたことを俳句にしている。秋は、秋に行った活動全体に対して、冬は、見て感じしたことだけでなく、触って見て感じたことも表現されている。春では、すずらんを見て、触ってみて、聞こえたことを俳句にしている。季節が進むにつれて、いろいろな感覚を使って季節を感じているのが、俳句にも表れている。五感という視点を与え活動してきたことで、少しづつ感性が広がり、表現にも生かされていることがわかる。

抽出児Aの感想には、「秋が少し嫌いだったけれど、活動を通して好きになる事ができた、家でもやってみたいと思った」と書いている。秋から五感を使って自然に触れ、親しむ活動を行い、自然に興味を持ち、進んで関わるようになっていったことで、抽出児Aは冬や春にも五感を使って様々な自然を感じることができるようになった。そして俳句でも、いろいろな感覚で感じたことを表せるようになり、表現の幅も広がって行ったと考えられる。

### 実践B 表現の深まり<事例2：抽出児B>

<抽出児B：語彙が増え、自然への関心が高まった>

図5 抽出児B「あき」のイメージマップの変容

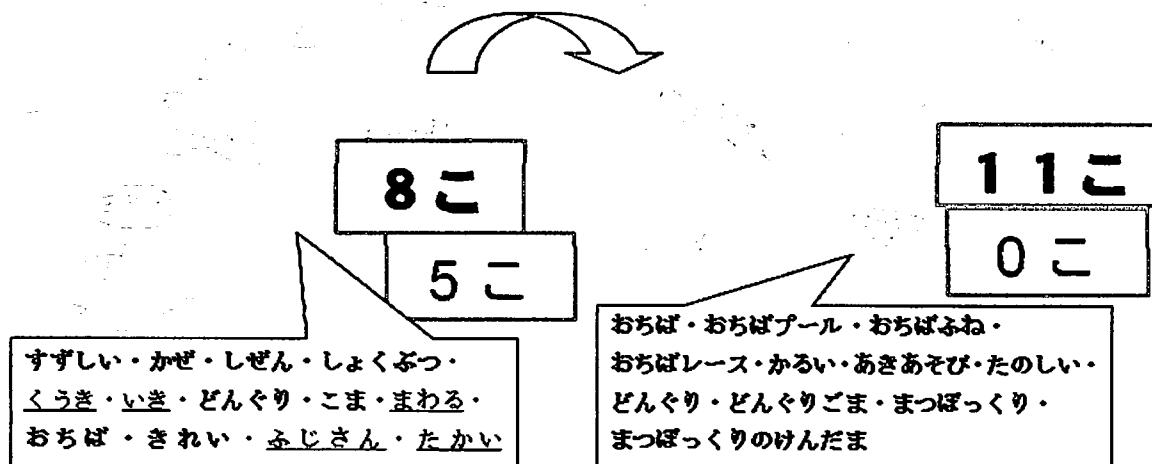
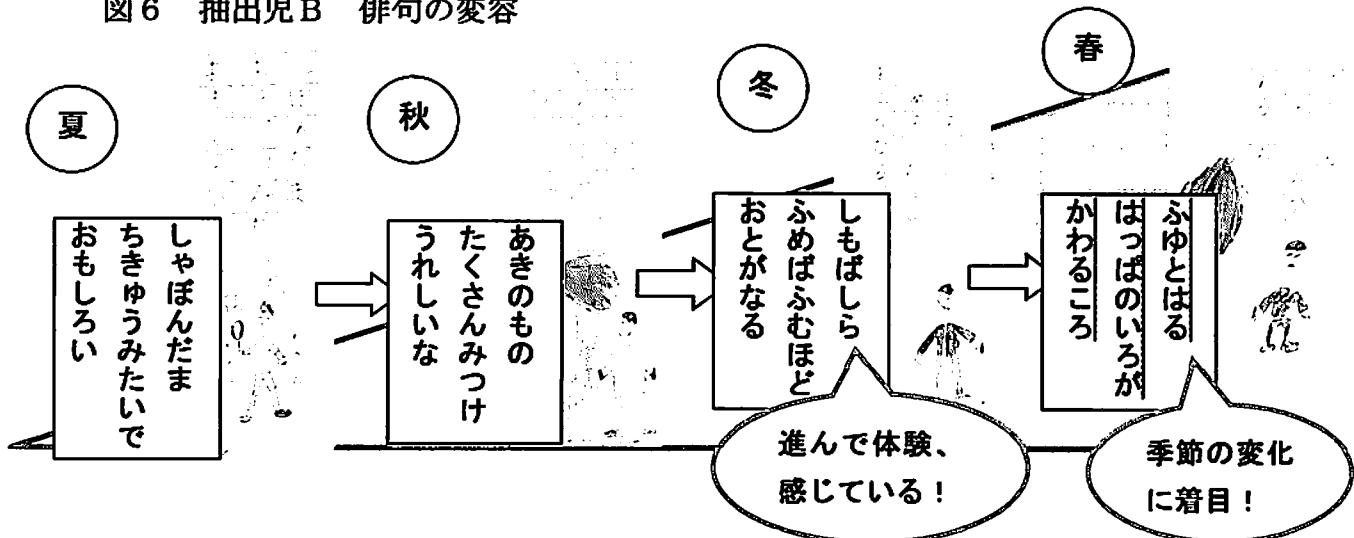


図6 抽出児B 俳句の変容



### 《考察》

抽出児Bは、夏に公園に行ったときに何もすることができずに困っていた児童の一人である。五感という視点を与えたことで、秋の活動を通して少しづつ自然に関心を持つことができるようになっていった。秋の活動の最初と最後に行ったイメージマップの調査では、最初は秋から関係のない言葉に発展してしまっていたが、最後に行った調査では、秋の活動でおこなったものやそこから派生して自分で考えたものがイメージできていた。2か月間という短い間に秋に関心を持つようになったからこそ、色々な言葉が出てきたのではないかと考える。俳句の表現を見ていても、最初は見たものだけだったが、冬には、自分から霜柱を踏んでみて感じたことを表現していたり、春には、冬との違いに着目して俳句に表現したりしている。

### 実践B 表現の深まり<事例3：学級全体>

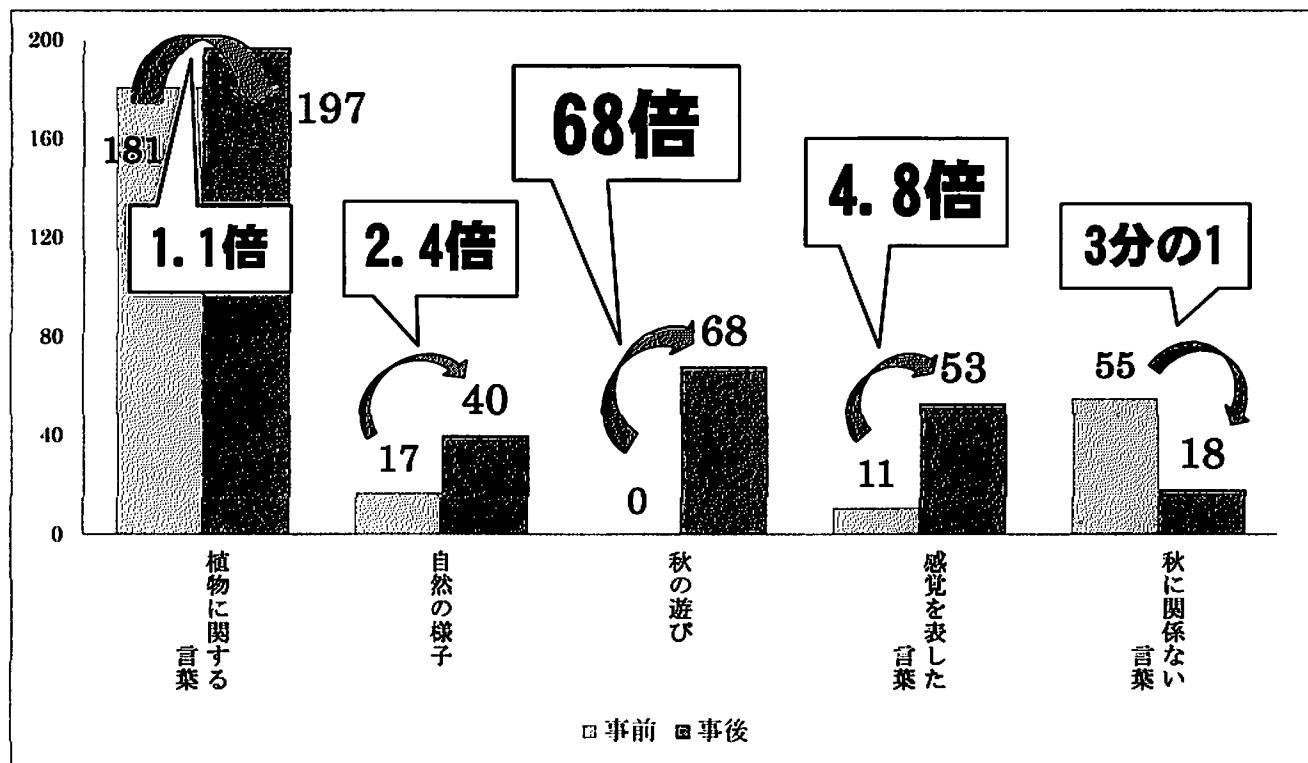
<学級全体：語彙が増え、自然や季節に興味を持つ児童が増えた>

図7 本学級における「秋」に対するイメージマップの変容

平成28年度 市原市立清水谷小学校 1年2組（男子18名 女子14名 計32名）

1回目（事前）調査日 平成28年10月

2回目（事後）調査日 平成28年12月



### 《考察》

図7の植物についてのイメージマップの変容では、事前が「183」と初めからとても高い値を示していた。これは、普段から植物に対する関心は持っていたといえる。中には、幼稚園でどんぐりごまを作つて遊ぶなど、自然とふれあう活動を行っていた児童もおり、幼稚園で植物との様々なふれあいがあつたものと思われる。「あきとなかよし」の単元の指導前後では、秋に関する語彙が増え、秋に関係ない言葉を書く児童が減ったことがわかる。中でも、たくさん経験した秋遊びは68倍、五感マップを使ってまとめた感覚を表す言葉は4.8倍と大きく増加している。ただ言葉が増えたのではなく、体験したことから具体的な言葉で詳しく書くことができるようになった児童が増えた。自然に対して興味を持つ児童が増え、語彙が豊かになったということがわかった。

## 7. 研究のまとめ

**成果** (1)五感という視点を持って体験活動を行うことで、児童は自然に興味を持ち、進んで自然と関わることができるようになっていった。

(2)感じたことを五感マップにまとめることで、自分や友だちの感じたことが可視化することができ、どの子も表現活動を行うことができるようになった。そして、「体験→五感カード→共有→表現」を繰り返していくことで、児童の感性が磨かれていき、豊かな表現活動につながっていった。

(3)活動全体を通して、児童は自然の良さ、楽しさを知っていくことで、その季節を好きになっていき、情意も育むことができた。

(4)初めは教師主体で五感マップをまとめていたが、春には児童だけで五感マップを作ることができた。

**課題** (1)五感マップの掲示位置が児童にとって見にくい場所にあったので、もう少し掲示場所を工夫すると良かった。

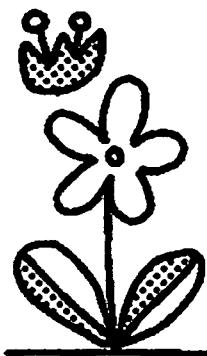
(2)教師主体で五感マップをまとめてしまったので、2年生では児童主体で行わせることで、さらなる気付きの深まりにつながるのではないか。四季を通じてしていくことで、さらなる気付きを生むと思われる。

(3)多様な感覚を表す言葉が出てきたが、表現する時に活用する五感に偏りが見られた。もう少し、色々な五感に着目して表現できるように声かけをすべきだった。

### 参考文献

- (1)『改訂新版 世界大百科事典』（平成26年12月1日）平凡社
- (2)『小学校学習指導要領解説 生活科編』（平成29年6月）文部科学省
- (3)『小学校学習指導要領解説 生活科編』（平成20年8月）文部科学省

# 資料編

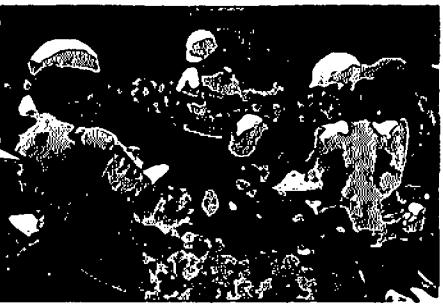


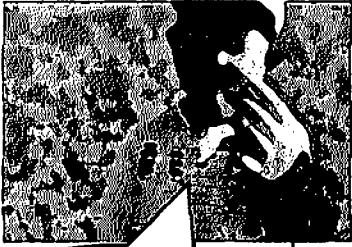
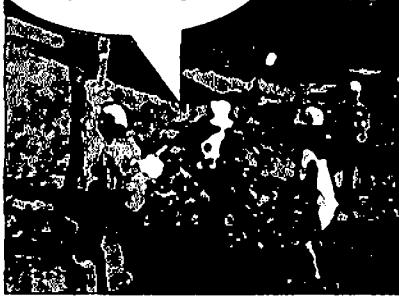
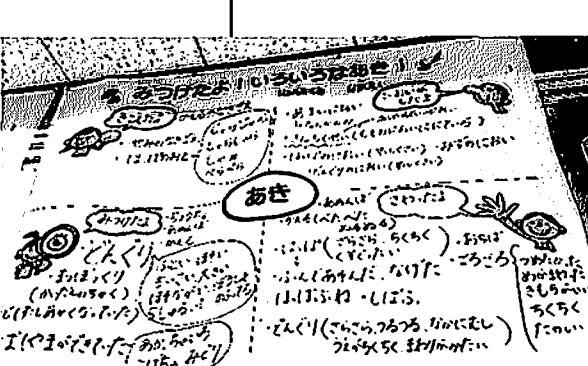


【資料1】

子どもの活動の流れ

<しせんとなかよし>

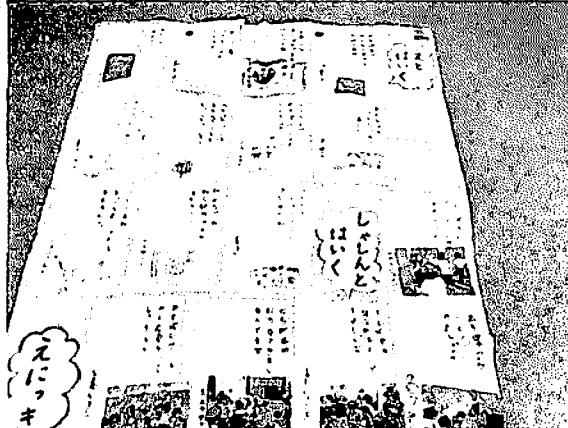
時配	小単元	活動内容
1 ・ 2	なつとなかよし ・公園や校庭で夏の自然の様子を見つける。 ・気付いたことをカードにかく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭を歩き、夏の様子を知る。</li> <li>清水谷公園に行き、植物の様子などに注目して夏を発見し、夏の公園で遊ぶ。</li> </ul>  <p>なんて花かな？</p>
3 ・ 4	たのしいあそびがいっぱい ・6年生と一緒にシャボン玉であそぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペア学年の6年生と一緒に清水谷公園でシャボン玉遊びをする。</li> <li>シャボン玉で遊んだ様子を6年生と一緒に俳句に書く。</li> <li>できた俳句を発表する。</li> </ul>   <p>見て見て！ 葉っぱに シャボン玉が くっついたよ！</p> <p>どんな俳句にしようかな？</p> <p>体験</p> <p>表現</p> <p>共有</p>
5 ・ 6 ・ 7	きれいにできたよ ・アサガオで色水遊びをする。 ・アサガオで押し花をし、しおりを作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>育てたアサガオの花をとる。</li> <li>とったアサガオを使って、色水遊びや押し花を作る。</li> </ul>

8	<p>あきとなかよし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭や公園で秋の自然の様子を見つける。</li> <li>・気付いたことをカードに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な場所で見つけた秋について話し合う。</li> <li>・夏に行った清水谷公園の様子を振り返り、してみたいことを考え話し合う。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発見したことを発表しながら、秋の自然と親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭や清水谷公園に秋の自然を見つけて遊んだり、木の葉や木の実を拾ったりする。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと知りたいことや、秋にやってみたいことを話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の様子を観察し、春や夏との違いを楽しむ。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	  <p>こうすると 楽しいよ♪</p>
12	<p>大きなどんぐり があったよ！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真などで活動を振り返りながら、発見したことや、楽しかったことなどを<u>五感カード</u>に書く。</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな秋を見つけたのか<u>発表し合い、五感マップにまとめる。</u></li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発見したことをどんなふうに表現したいか話し合い、表現する。</li> </ul>
	<p>・俳句作りを行う。</p>	 <p>表現</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけてきた秋の自然でどのようなことができるか話し合う。</li> </ul>	

体験

五感カード

共有

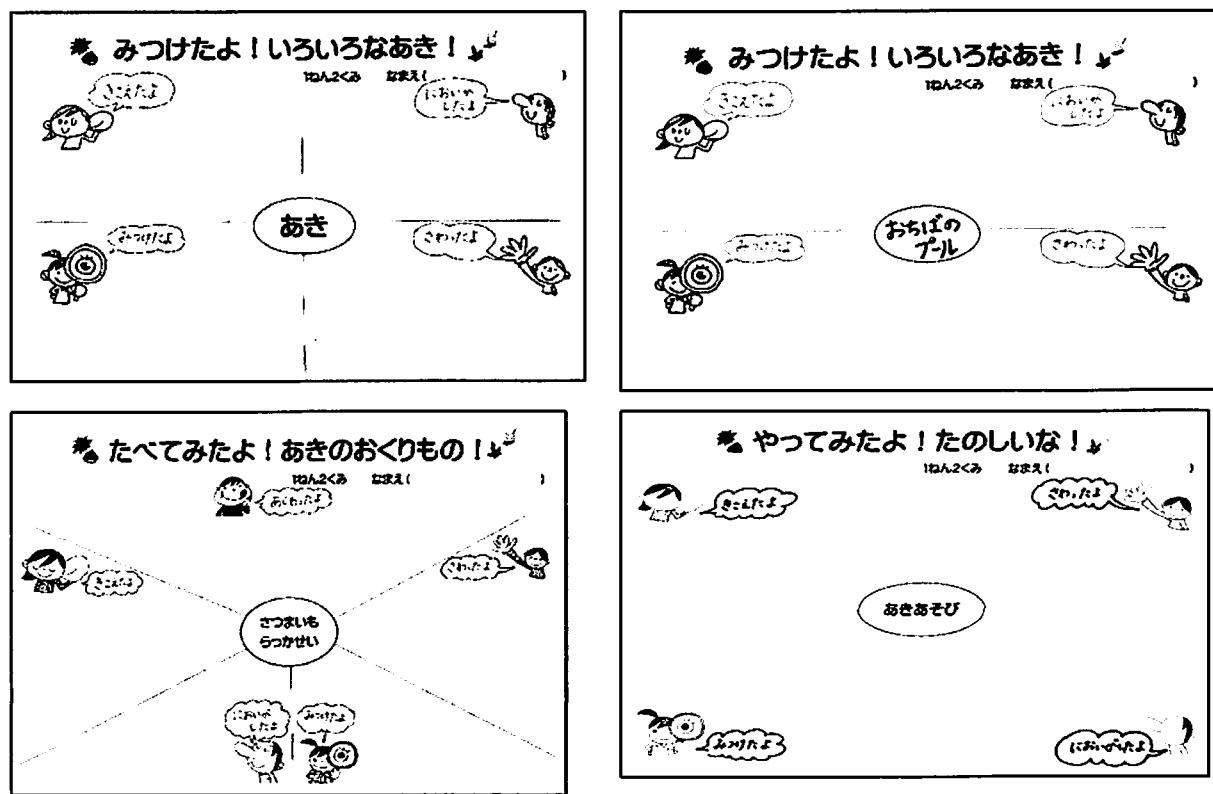
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち葉プールをつくる。</li> <li>・どんな大きさにしたいか、何が必要かを話し合う。</li> <li>・校庭や清水谷公園に落ち葉を拾いに行く。</li> </ul>	<b>体験</b>
1 4	たのしいな おもしろい ね おいしいな	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の自然で遊んだり、作ったりする。</li> <li>・落ち葉プールを作る。</li> </ul>	<b>五感カード</b>
1 5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち葉プールで遊ぶ。</li> <li>・遊んで感じたことを五感カードに書く。</li> </ul>	
1 6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・五感カードに書いたことを発表し合い、五感マップにまとめる。</li> <li>・表現方法を考え、表現する。</li> </ul>	<b>共有</b>
1 7		<p>(俳句、うた、絵日記)</p> 	<b>表現</b>
1 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいもと落花生を収穫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいもと落花生を収穫する。</li> <li>・さつまいものつるを使ってリースをつくる。</li> </ul>	<b>体験</b>
1 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいもや落花生を食べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいもと落花生を調理して食べる。</li> <li>・発見したことを五感カードに書く。</li> </ul>	<b>五感カード</b>
2 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれが作ったり、遊んだりしたことを交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五感カードに書いたことを発表し合い、五感マップにまとめる。</li> <li>・表現方法を考え、表現する。</li> </ul>	<b>共有</b>
2 1		<p>(俳句、うた)</p>  	<b>表現</b>
		<p>みんなで、歌って踊って楽しいね！</p>	

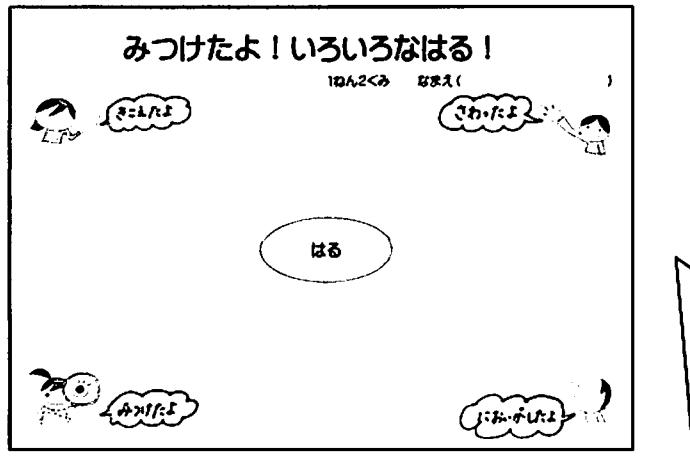
2 2 ・ 2 3 ・ 2 4 ・ 2 5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋に見つけたものを使ってどんなものが作りたいかを考える。</li> <li>・グループごとに作品を作る。</li> <li>・できた作品を交流し、ゲーム大会を開く。</li> <li>・感じたことを五感カードに書く。</li> <li>・五感カードに書いたことを発表し合い、五感マップにまとめる。</li> <li>・表現方法を考え、表現する。</li> </ul>	<p><b>体験</b></p> <p><b>五感カード</b></p> <p><b>共有</b></p>
2 6 ・ 2 7	<p>ふゆとなかよし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭で冬の自然の様子を見つける。</li> <li>・気付いたことを俳句にかく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭を歩き、冬の様子を知る。</li> <li>・見つけた冬を俳句で表現する。</li> <li>・できた俳句を発表し、共有する。</li> </ul>	<p><b>体験</b></p> <p><b>表現</b></p> <p><b>共有</b></p>
2 8	<p>みんなかぜのこ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭で凧揚げをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たこを作り、校庭で飛ばして遊ぶ。</li> </ul>	

2 9	はるをみつけよう	<p style="text-align: center;"><b>体験</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭で春の自然の様子を見つける。</li> <li>・気付いたことを俳句にかく。</li> <li>・校庭を歩き、冬の様子を知る。</li> <li>・気づいたことを五感カードに書く。</li> <li>・五感カードに書いたことを発表し、五感マップにまとめる。</li> <li>・見つけたを俳句で表現する。</li> <li>・できた俳句を発表する。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>五感カード</b></p> <p style="text-align: center;"><b>表現</b></p>
3 0		
3 1		

## 【資料2】

五感カード (B4の大きさ)





児童が親しめるように、五感をモチーフにした絵を取り入れた。「きこえたよ」「さわったよ」「みつけたよ」「においがしたよ」「あじわったよ」と五感を簡単な言葉になおして、1年生でもわかりやすいようにした。また、罫線などは入れず、大きな枠だけとることで、文字を書くのが困難な児童が絵や記号などがかけるようにした。児童が、楽しく自由に取り組めるように工夫して作成した。

### 【資料3】

## 【五感マップを活用した豊かな表現活動の実践】

## 実践A 多様な表現<事例2：焼き芋>



## 表現

### 【歌とダンス】

① べいいらのりん、  
ひいしら ぬくとこ うんとこし  
ぬいたら へべり ほいしう  
つづんで めらして ひのなかへ  
べりばん べりばん わらわのく  
あめひんぱく たべよう くらはい

② やさいし やさいも おなががぐう  
じゆかね ほかねへ あらのく  
たべたら あまくて おいしいか  
それ やさいも やさいしへちば

うたと  
ダンス



(やさしげトバの  
かえり)

### 【俳句】

やきいもは  
すこくあつくて  
がまつか

てりやきいもは  
てりやきいもは  
てりやきいもは

やきいもは  
ほかほかあまい  
おいしくて  
おいしいな

おいもはね  
あまくてかたい  
どつちだろ

あまくてかた  
い

やきいもは  
ほかほかあまい  
おいしくて  
おいしいな

### 【資料4】

#### イメージマップに出てきた語彙

	事前	事後
植物に関する言葉	落ち葉(31)どんぐり(28)松ぼっくり(16)焼き芋(14)柿(12)葉っぱ(11)栗(10)ぶどう(9)さつまいも(7)もみじ(6)木の実(6)いも(5)りんご(5)梨(3)イチョウ(3)ススキ(3)きのこ(2)いも掘り(2)枯葉(2)石焼き芋(1)紅葉(1)クルミ(1)木(1)きんもくせい(1)植物(1)	どんぐり(30)落ち葉(28)松ぼっくり(24)もみじ(14)焼き芋(14)りんご(13)イチョウ(10)柿(8)葉っぱ(6)さつまいも(6)ぶどう(6)落花生(6)どんぐりの帽子(4)栗(3)きのこ(3)お芋(3)落ち葉の木(3)落ち葉の山(2)色つき落ち葉(2)ススキ(2)いろいろな種類のどんぐり(2)どんぐりの中身(2)松の木(1)実(1)ひょうたん(1)ぶどう狩り(1)どんぐりの穴(1)太いどんぐり(1)
自然の様子	寒い(4)涼しい(2)風(2)パークーを着る(2)暗くなるのが早い(1)明るくなるのが遅い(1)池の水が冷たい(1)くもり(1)落ち葉が落ちる(1)自然(1)空気(1)	寒い(6)音が聞こえる(5)どんぐりがよく回る(4)どんぐりは丸い(4)どんぐりが転がる(2)風が吹くと落ち葉が飛んでいく(2)涼しい(2)たき火(1)家があたたかい(1)布団をかける(1)紅葉する(2)乾燥する(2)少し暑い(1)風(1)落ち葉が雨みたいにふる(1)実から汁がプチャーとれる(1)焼く(1)おなかがとんがっているどんぐり(1)ねこじやらしが黄色くなる(1)落ち葉がいっぱい(1)アーモンドみたいな実(1)石の下に虫がいっぱい(1)
秋の遊び		どんぐりごま(23)落ち葉プール(9)松ぼっくりのけ

		ん玉(4)落ち葉集め(3)秋の実の楽器(3)秋遊び(2)落ち葉のお面(2)魚釣り(2)マラカス(2)秋まつり(2)飾り作り(2)落ち葉の船(1)落ち葉レース(1)松ぼっくりの色付け(1)イチョウのお面(1)落ち葉の飛行機(1)栗の帽子(1)落ち葉を落とす(1)俳句(1)くじ(1)落ち葉の洋服(1)どんぐりあて(1)動物作り(1)アクセサリー(1)松ぼっくりのヨーヨー(1)
感覚を表した言葉	あったかい(5)甘い(2)ほかほか(1)かりかり(1)まわる(1)きれい(1)	ちくちく(8)あったかい(6)甘い(5)ざらざら(3)つるつる(3)熱い(3)くさい(3)しゃきしゃき(2)さらさら(2)良い気持ち(2)軽い(1)楽しい(1)硬い(1)少しちくちく(1)冬に似ている(1)おいしい(1)ほかほか(1)冷たい(1)べたべた(1)しゃらしゃら(1)痛い(1)におい(1)きれい(1)とがっている(1)大きい(1)小さい(1)じやらじやら(1)
秋に関係ない言葉	芝(3)チョウ(3)アメンボ(3)スープ(3)水(2)みかん(2)人形(2)クリスマス(1)サンタ(1)トナカイ(1)角(1)冬(1)コーンスープ(1)心が温まる(1)メロン(1)さといも(1)マフラー(1)ストーブ(1)もこもこ(1)洋服(1)公園(1)花(1)雨(1)いちご(1)カエル(1)丸(1)ヨーヨー(1)こたつ(1)おでん(1)富士山(1)高い(1)息(1)ジャンパー(1)着るもの(1)氷(1) )冷たい(1)雷(1)ライオン(1)鳥(1)ウサギ(1)恐竜(1)肉(1)	こたつ(3)みかん(2)温かいもの(1)コーンスープ(1)氷(1)冷たい(1)ストーブ(1)四つ葉のクローバー(1)チューリップ(1)アメンボ(1)カエル(1)お湯(1)温めた牛乳(1)コーヒー(1)

### 【資料5】

#### アンケート調査結果

平成28年度 市原市立清水谷小学校 1年2組 (男子18名 女子14名 計32名)

1回目(事前) 調査日 平成28年10月

2回目(事後) 調査日 平成28年12月

<「あきとかよし」小単元開始前と開始後に実施した>

	事前	事後	
生活科の学習は好きですか。	はい	32名	はい 32名
どんな生活科の勉強が好きですか。 (複数回答)	・虫探し ・色水遊び	21名 6名	・あきまつり ・全部 7名 1名



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑いから</li> <li>・はちが嫌い</li> </ul>	1名 1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑いから</li> </ul>	1名
夏と秋の違いは何ですか。 (複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏は暑く、秋は寒い</li> <li>・夏は暑い</li> <li>・夏は海に行ける</li> <li>・夏は学校が休み</li> <li>・秋は寒い</li> <li>・秋は涼しい</li> <li>・秋はちょっと暑い</li> <li>・秋はあつたかい</li> <li>・どんぐり</li> <li>・こたつに入る</li> <li>・葉が落ちる</li> <li>・葉が茶色になる</li> <li>・わからない</li> <li>・無回答</li> </ul>	17名 5名 2名 2名 3名 3名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏は暑い、秋は涼しい。</li> <li>・夏は暑い、秋は寒い。</li> <li>・暑いこと</li> <li>・夏はプールと海</li> <li>・夏は暑い日が多いが、秋は寒い日も暑い日もある。</li> <li>・夏はすごく暑い</li> <li>・落ち葉が落ちている</li> <li>・夏は暑い、秋はあつたかい</li> <li>・あつくない</li> <li>・涼しい</li> <li>・夏にはあって、秋にはないものがある。</li> <li>・葉の色が違う</li> <li>・暑くない</li> <li>・木の色が違う</li> <li>・セミがいない</li> <li>・夏はセミがいる</li> <li>・風が吹く</li> <li>・秋はいろいろとれるが、夏はとれない</li> <li>・わかりません</li> </ul>	4名 5名 4名 2名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 4名
「秋だな」と感じるのは、どんな時ですか。 (複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お月見</li> <li>・葉っぱが増える</li> <li>・もみじが赤くなったとき</li> <li>・葉っぱが落ちる</li> <li>・まつぼっくり</li> <li>・どんぐり</li> <li>・寒いとき</li> <li>・風が冷たい</li> <li>・葉っぱの色が変わる</li> <li>・落ち葉がある</li> <li>・ちょっとずつ寒くなるから</li> <li>・気温がちょうどいい時</li> <li>・そんなにあつくない</li> </ul>	5名 3名 1名 2名 2名 2名 2名 1名 1名 1名 2名 1名 1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりがいっぱいある時</li> <li>・落ち葉がとんでくる時</li> <li>・落ち葉がたくさんある</li> <li>・風が吹くとき</li> <li>・落ち葉が茶色</li> <li>・遊んでいるとき</li> <li>・涼しいとき</li> <li>・落ち葉プールで遊びたくなる。</li> <li>・焼き芋</li> <li>・葉が落ちる</li> <li>・寒さ</li> </ul>	3名 1名 4名 1名 2名 1名 2名 2名 1名 3名 3名

**秋に関する**  
**語彙が豊かに！**

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きりぎりすがいたら</li> <li>・草が伸びていない</li> <li>・温かいお茶を飲んだとき</li> <li>・友達と遊ぶとき</li> <li>・テレビを見て</li> <li>・わかりません</li> <li>・無回答</li> </ul>	<p>1名 1名 1名 1名 3名 1名 2名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し寒い</li> <li>・落ち葉プールで遊んでいて、落ち葉を投げたとき</li> <li>・11月</li> <li>・外に出たとき</li> <li>・葉の色が変わる</li> <li>・わかりません</li> </ul>	<p>1名 1名 1名 1名 1名 3名</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------

「どんな生活科の勉強が好きですか。」という問いで、事前では「虫探し」が21名と圧倒的だったが、事後では、「あきまつり」が7名、「ものづくり」が5名、「あきあそび」が4名、その他の学習活動をあげる児童も多い。「秋が好きですか」という問いで、事前では「好き」と答えた児童が25名であったが、事後では29名になった。「好き」な理由は、事前では「お月見がある」が9名、「涼しい」「みかんが食べられる」「葉っぱが落ちてきれい」がそれぞれ2名等であったが、事後では、「落ち葉がいっぱいある」が9名、「秋のもので遊べる」が5名、その他遊んだことについて書いたものが多い。「夏と秋の違いは何ですか。」という問いで、事前では「夏は暑く、秋は寒い」が17名と圧倒的だったが、事後では、「夏は暑く、秋は寒い」が5名に減少し、「夏は暑い、秋は涼しい」「暑いこと」がそれぞれ4名、その他夏と秋の違いを比べて書いているものが多い。

学級のアンケート結果からは、事前では「虫探し」「あさがおの観察」といったように活動を大きなまとまりとして答えている児童が多くいたが、事後では、「探しに行く」「伝えるのが好き」と具体的な活動を言葉で表現するようになっている。秋が好きな理由として、事前では「誕生日だから」のように直接季節とは関係のない理由で好きと答える児童がいたが、事後では、「黄色や赤の木があつてきれい」「色々な秋のもので遊べる」等の自然に関する物や「あきとなかよし」の学習で体験したことを理由に挙げている。夏と秋の違いについては、事後でも夏に関する語彙があまり増えず、秋に関する語彙が増えていることから、「なつとなかよし」より「あきとなかよし」の単元は、子供たちにとってより楽しく印象に残ったのではないかと思われる。

【資料6】

清水谷小学校 年間指導計画

